



秋田県議会 ● 会派 i b u k i
元気主義

皆さんこんにちは。9月議会の報告が遅れて申し訳ありません。大仙市議会議員

選挙、仙北市長選挙などがあり、発行を控えていました。時期がずれ込んでいるため、今号では自分のホームページに掲載している、日常的な議員活動をご報告することにします。7月から10月までの政務調査レポート35本の中から、印象的な記事をダイジェストで抜き出しました。最後までお読みいただければ幸いです。

引きこもり・ニートについて いぶきミーティング

大仙市女性センターを会場にいぶきミーティングを開催しました。テーマは「引きこもり・ニートについて」です。お集まりいただいたのは、大仙市と美郷町で活動するNPO団体、引きこもりの子供を持つ秋田市内の家族の皆さんなど11人。これにいぶきの3人(後に京野県議辞職)と地元の渡部県議が参加し、現状の把握や今後の在り方などを話し合いました。参加者からは「引きこもりが悪いこと、恥ずかしいことと考えられていて、家族も引きこもってしま

最初の一步

う、また「県がどのような対策を講じているか」と言う前に、現状認識があまりに低すぎる」など、日頃感じている思いを話してくれました。自分が何より驚いたのは、そんな環境にある家庭の横のつながりが非常に薄いと言うことです。の

皆さんには今後も定期的に連絡を取り合い、活動のネットワークづくりを進めることにしました。市町村や県庁に相談窓口を設置したり、勉強会をしたり、とにかく行動を起こそうと



写真上：いぶきミーティング大曲会場
写真下：秋田経済同友会との懇談会の様子

秋田経済同友会と懇談して...

9月県議会の議案審議が一段落した後、秋田経済同友会と県議会商工労働委員会の懇談会が秋田市内で開催されました。経営者の皆さんのお話しにふれ、自分も「もっと頑張らなければ」と強く感じました。どんなお話しをいただいたかと言つと、

低価格競争になつていて本当に苦しい。入札制度の見直しも必要ではないか。印刷業界では他県への発注率が高く県内業者が大変。コンピュータシステムなど、仕様書の段階から県外業者の影が見える。それだと県内業者は価格対応しかない。秋田市の中央街区開発は今後どのような方向付けとなるのか。県庁に行つても担当者となら会えない。最新の情報が欲しいだけなのに、もっと気軽に会話できる雰囲気はできないものか。誘致企業へ県議の皆さんが足を運んで欲しい。そこから苦情や可能性を聞き、次のステップとして欲しい。等々でした。とても良いお話しでした。特に「のご提案(誘致企業に足を運んでもらいたい)は、すぐに実行します。」

県外調査でデンソーなどを訪問

県議会商工労働委員会の県外調査で愛知へ行ってきました。秋田県経済の高揚、雇用対策を念頭に、デンソー本社(刈谷市)や関連工場を回りました。デンソーはトヨタ系自動車部品を製造する会社で従業員は約3万3千人。訪問は秋田への進出の可能性をお聞きすることでした。対応いただいた田島常務は「今後の生産台数が見えない」と述べ、現段階では進出の可能性が低い印象でした。次に訪ねたデンソー高棚製作所では「仮に電気自動車(自分が以前から取り組むテーマ)の製造が秋田で始まった場合、デンソーとして、部品やノウハウの提供など協力いただけるでしょうか」と尋ねました。所長の大橋さんは「夢のあるお話しですね」と話してくれました。愛知県議会では、愛知とトヨタグループとの関係について「トヨタの城下町として発展してきたことは間違いなく」と話し、法人税等で多くの恩恵を受けていることはもちろんですが、何よりも県民に提供できる雇用力に大きな魅力を感じました。トヨタだって最初から世界企業だったわけではありません。秋田にも可能性が眠っています。



自分探しの子供たちが集う「長信田の森」心療クリニック

クリニックは山本町にあり、精神科、心療内科、カウンセリングが専門で、若者向けのデイケアを併設しています。子供たちの生き生きとした声が響いています。でも彼ら、彼女らは不登校、引きこもりに悩んだ子供たちなのです。年に一度の「長信田祭」で演じた朗読劇「過ぎ行く時を」を見ていて、涙が溢れました。子供たちの言葉で印象深かった幾つかを書き出します。世の中が早い。考えている暇もない。僕は誰だ。これからどうなっていくんだ。心を開くな。心を開かない人間は自由だ。心を開いた途端、他人の束縛が始まるぞ。

県議会メモ

9月定例会で可決・認定された主な議案の内容

【平成17年度一般会計補正予算】

アスベスト除去工事の低利融資事業
「子供子育て支援条例(仮称)」制定
企業の行う設備投資への助成制度

【秋田県総合政策審議会条例】

県の政策の総合的かつ、計画的な推進及び地方分権の推進に関する重要事項を調査審議するための審議会設置

【職員退職手当に関する条例の一部改正】

定年前早期退職者に対する退職手当にかかる特例措置の拡充

【秋田県空港管理条例の一部改正】

秋田空港の運用時間等の延長

意見書(要旨)

道路特定財源の堅持を求める
抗がん剤治療専門医(腫瘍内科医)の早期育成等

決議(要旨)

県職員及び教職員等の不祥事の再発防止を求める決議



11月2日、県北地区で障害者の自立支援を行っている皆さんにお集まりいただき、「障害者と共に地域で暮らすために」をテーマとした第4回いぶきミーティングを開催しました。その概要をお知らせします。



みんな違って当たり前！

第4回いぶきミーティングの開催

参加者

菅原龍典さん 大館身体障害者協会 会長・県議 小規模作業所の充実が必要で、ネットワークを強化して発言力を高め行政に言い続けます。障害者自立支援法が成立しましたが、多くの問題を抱えています。

加藤紀彦さん 秋田県重症心身障害児(者)を守る会理事 子どもが3人いて、真ん中の女児が重度の身障者です。車いすで学区の学校に通っていて、皆さんにお世話になりながらの毎日です。福祉の底辺が切られて行くのかと不安を感じています。

柴田博さん 秋田看護福祉大学教授 南が丘ニュータウンに養護学校・聾学校・盲学校などを集積したエリアをつくる話を聞いて「またか」と。

県には身障者対策の理念が見えませんが、みんな違って当たり前、それがノーマライゼーションです。

佐藤つじ子さん 県北部男女共同参画センター所長 障害者の人権を話し合う市民のためのシンポジウムを障害者の皆さんと一緒に昨年から開催しています。皆さんと接する度にとても人間的で魅力的な方が多いと感じるようになりました。

畠山安彦さん 大館身障者協会事務局(1種2級身障者) 東京でバイク事故を起こして半年間入院。その後、障害が残りました。それで大館に帰ってきたんですが、自分で歩けない時でも、友人に背負ってもらい飲み屋に通っていました。

小塚光子さん 前鷹巣町議会議員

障害者と共に地域で暮らすために

母が両手両足に障害を持っていました。その影響があつてか、成人してから養護施設や保育園に勤めたりしました。障害があつてもその地域の保育園に通わせたいです。地域で暮らすことを大切にしたいです。

松田光朗さん 北秋田市議会議員 42年間公務員を経験。福祉関係の仕事もしました。そんな関係で、障害を持つ皆さんから就職のことで相談を受けますが、なかなか提供できないもどかしさに悩んでいます。共に暮らすためには職場が必要です。

《門脇みつひろが思うこと》
皆さんのお話を聞くにつれ、取り組むべき課題が漠然とですが見えて

きました。まず、障害者の自立を支援するきっかけを考えた時、それは肉親に障害者がいたり、そんな仕事に就いたからと言う自身の環境です。語弊を恐れずに言えば偶然性です。

コロニーなどの施設型福祉政策が始まる以前、どの町内にも集落にも、障害者の方がいました。普段の生活の中でお互いに認め合つて、助け合つて人生を過ごしていたのです。それが当たり前、必然的な社会の姿です。現在は少し違っています。障害を持つ皆さんと接する機会が少ないことに、様々な問題の元があるような気がします。

ノーマライゼーションは、障害者であるうとと健常者であるうと、同じ条件で生活を送ることが出来る社会

をつくる全ての営みです。

秋田県はどうでしょうか。南が丘ニュータウンの例で考えられることは、今なお施設建設・施設入所を中心とした政策ではないかということ。もちろん施設入所も大きな恩恵があります。でも家族や近所の皆さんからサポートいただけて生活できたらどんなに良いか。これは介護福祉、そして子育て支援にも共通の課題です。周囲の皆さんからお世話になったりご恩返しをしたり、それが地域で生きると言つことではないでしょうか。

一昔前の障害者の自立感「身の回りのことが一人でできること」でした。今は「行政や周囲のサービスを利用しながら自己決定すること」

だと言います。辛くなつたら援助の手を借りることは、何も恥ずかしいことではありません。障害の程度にもよりますが、社会で、地域で頑張りたいと思つて、多くの皆さんの協力をいただく方々を、自分は大丈夫知っています。そんな皆さんはとも活き活きしています。

障害を持つ皆さんの大きな不安に就職難があります。畠山さんは、採用通知をもらった会社から、「身障者のトイレがないから採用を取り下げる」と言われたそうです。また一方では積極的に障害者雇用を進める企業や行政体も出てきました。意識の改革に努め、この動きを推進する制度の実現が必要です。

社会が健全であるためには「みんな

な違って当たり前」の思いを広めなければいけません。家族ができること、地域ができること、企業や行政が取り組むことを整理し、それを秋田県の障害者福祉対策の理念としましょう。これには大いなる覚悟が必要で、何より障害者自身の積極的な社会参加意欲を削ぐような秋田県であつてはならないと思ひます。



門脇みつひろ あきた県政懇談会日程

- 11月14日(月) 午後時30分 ~ 西木公民館 桧木内館
- 11月15日(火) " 田沢湖野村田向集落会館
- 11月16日(水) " 田沢湖武蔵野第一会館(奥山商店様向かい)
- 11月21日(月) " 角館広久内会館
- 11月22日(火) " 角館広域交流センター

皆さんお問い合わせの上、お気軽にご来場ください。懇談会では県政の現状をご報告後、地域から県への要望などをお伺いしています。

皆様のご意見をお待ちしています。
電話 0187(52)5188 FAX0187(52)5189
メール info@kadosan.com

秋田県議会「会派いぶき」
〒010-8570
秋田市山王4-1-1秋田県議会棟内
電話0187(860)2094
FAX0187(860)2105

門脇みつひろ事務所
〒014-0512
仙北市西木町上荒井字新屋10-1
電話0187(52)5188 FAX0187(52)5189
<http://www.kadosan.com/>

淡路定明事務所
〒011-0942 秋田市土崎港東1丁目2-79
電話0187(847)1915 FAX0187(847)1914
<http://homepage2.nifty.com/awajigka/>

県政報告
「会派いぶき活動レポート」
仙北編10 2005 秋
発行者: 秋田県議会「会派いぶき」
代表 門脇 光浩